

ケアマネとして思うこと

美沼下 洋子



「バルムなかにいだ」でケアマネとして働いている沼下です。以前は居宅でのケアマネとして働いておりましたが今年の春よりこちらのグループホームにて働く事となりました。

まず、初めに簡単に自己紹介をしたいと思います。星座はふたご座、血液型はA型、趣味はガーデニングで花や植物が大好きです。花や植物の名前を覚えるのが好きで、特にハーブの料理法や保存の仕方等については大変興味があります。

グループホームは、認知症と診断された高齢者の方たちが居住する場であり、認知症ケアというものについての知識や技術については、初めてのグループホームでの経験という事で、初めはとまどいのようなものがありました。

こうした状況下9月には、実践者研修という研修に参加することができ、とても良い機会に恵まれました。

研修の目的は、自立した生活を営むことを支援できる実践的な認知症介護の知識と、技術を身につけるといった内容のものでした。認知症介護の質の向上を目指す研修カリキュラムの内容のもとでの研修であり、決して生半可なものではありませんでした。

6日間の講義のもと、一日の外部実習、自施設での4週間の実習、レポート作成、提出という繰り返しの研修であり、多いに学ぶべきこともある反面、自分自身の介護というものを振り返る良い機会ともなりました。

4週間の施設での実習では、利用者主体の介護という課題のもと勉強会、アンケート調査などを行ってきました。アンケートの結果からは、一人一人が自己の介護の気づきに気づき、その人の立場となって考えることができる、想像力、思いやりのある介護が必要であるという結果の内容となりました。

又、勉強会では認知症についてという内容のもと、皆さんとカンファレンスを行ないました。BS法を用いた方法で、自分が高齢者になったらという内容で「してほしいこと」「してほしくないこと」という課題設定のもと皆さんより多くの意見を出していただきました。

アンケートを集計し、勉強会などを振り返ってという内容で、皆さんより意見や反省点などを聞かせていただきました。その結果では、自分がされて嫌なことは人にもしないという事、その人の立場になって考えることができる、想像力、思いやりのある介護を行なっていくという意見がでて、認知症への理解を深めた内容につながったと思っています。

今回の研修では、「バルムなかにいだ」全体が自己の介護を改めて見つめなおす事ができ、ケアの質の向上につながっていったのではないかと確信しています。

職員一同が基本理念を共有し、本人の不安を取り除き笑顔で暮らせるグループホーム作りを目指していくよ

う頑張っていかなければならないという志は皆同じであります。

勉強会では、研修で自分が得たことを全職員に伝え、理解していただけたと内心うれしく思いました。これからも多くの研修会に参加し、一人一人が自己研鑽し「バルムなかにいだ」の利用者の皆様が「ここに来て良かった。」といわれるようなグループホーム作りとなるよう職員一同目指す方向でいきますので、これからも「バルムなかにいだ」をよろしく願いいたします。

10月の行事

8日(水) 誕生会

- ・開会の挨拶
- ・ケーキのロウソクに点火
- ・ハッピーバースデーの歌を唄います
- ・ローソクの火を消します
- ・プレゼント贈呈
- ・記念写真撮影
- ・利用者様よりの挨拶
- ・会食
- ・閉会の挨拶



普段の生活を、そのままに！

28日(火) リンゴ狩り(色麻・南果樹園)

- ・10:00 ホーム出発(全員参加)
- ・色麻の南果樹園にてリンゴ・ブドウ狩り
- ・全員の記念撮影
- ・11:50 小野田のレストラン(ぶな林)着
- ・トイレ介助
- ・ぶな林にて会食
- ・13:10 薬来ゴルフ場でガーデニング散策(歩ける方が対象となります)
- ・記念撮影
- ・14:30 ホーム着

以上の日程・流れにてレクリエーションを行なっていきます。